

平成22米穀年度における北海道米の道内食率（暫定値）について

平成23年1月28日
北海道農政部

平成22米穀年度(21年11月～22年10月：主に21年産米)における北海道米の道内食率（道内の米消費量に占める北海道米の割合）を次のとおり算出しましたので、お知らせします。

記

平成22米穀年度の北海道米の道内食率（暫定値） = 78%（前年度と同じ）

※ 算出方法については次頁参照

1 道内食率が前年度と同じ78%となった主な理由

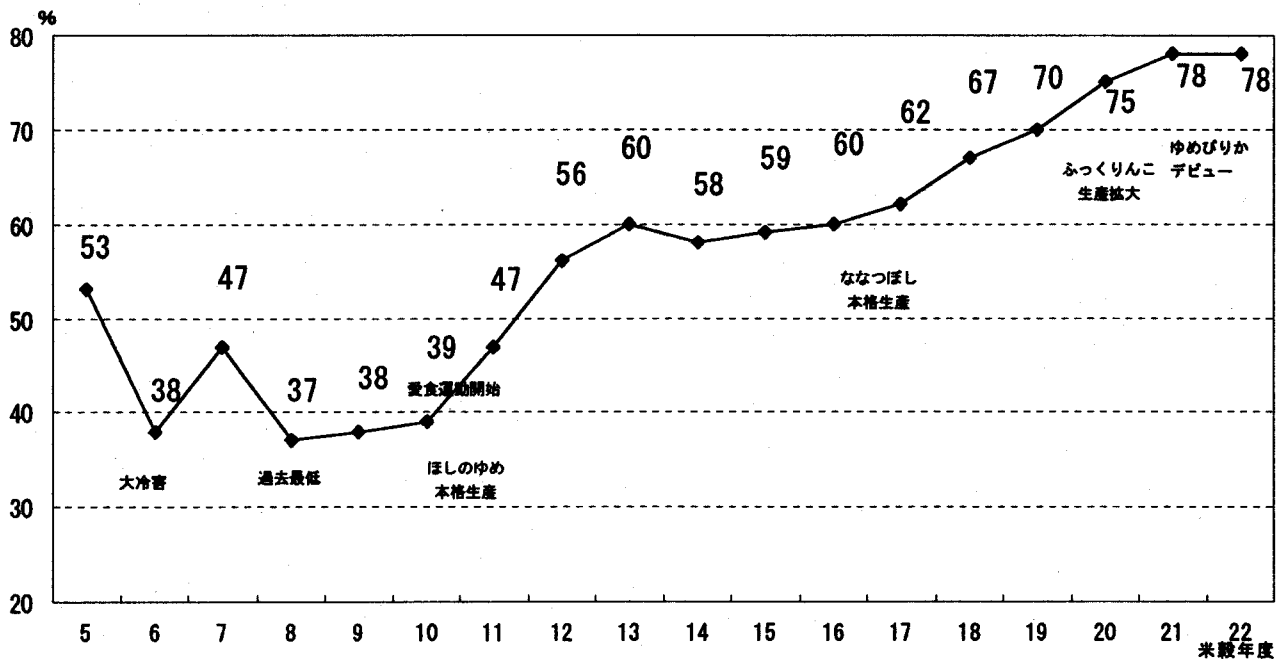
- ① 21年産の北海道米は、天候不順の影響を受け、作況指数89の不良となり、良食味米の安定供給が難しい状況の中で、農業団体等関係者による道内向けに重点を置いた販売努力
- ② 農業・経済団体、行政が一体となった北海道米食率向上に係る取組により、北海道米の美味しさが道民に浸透し、評価・支持が着実に定着
- ③ 「ゆめぴりか」の販売開始及びPRなどが、北海道米全体への期待へと波及

2 今後の取組

北海道米の道内食率の目標80%の達成に向けて、引き続き、関係機関・団体と緊密に連携し、主に次の項目に取り組む。

- ① 食味や品質の一層の向上と多様なニーズに対応した生産体制の強化
- ② 基幹品種に加え、「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「おぼろづき」といった、高品質で美味しい北海道米ブランドを一層、浸透・定着させるため、PR活動と販売促進を展開

3 北海道米の道内食率の推移



[道内水稻作況指数の推移]

年産	H 5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
指数	40	108	103	101	102	105	103	103	100	91	73	98	109	105	98	106	89	98

4 算出方法

平成22年11月に道内主要米穀卸売業者へ依頼した「卸売業者における府県産うるち米の販売数量調査」の集計結果をもとに、22米穀年度(RY)の北海道米の道内食率を推計。

(1) 基本的考え方

$$\begin{aligned} \text{北海道米の道内食率} &= \frac{\text{北海道米消費量}}{\text{北海道内米総消費量}} \times 100 \\ &= \frac{\text{北海道内米総消費量} - \text{府県産米消費量}}{\text{北海道内米総消費量}} \times 100 \end{aligned}$$

(2) 算出の基礎

①北海道内米総消費量 = 道内総人口 × 1人1年当たり消費量の合計

○ 道内総人口 … 道総合政策部「住民基本台帳人口」(平成21年12月、22年3月、6月、9月各月末の台帳を単純平均したもの)

○ 1人1年当たり米消費量 … 「食料需給表」(農林水産省)の「米の1人当たり供給・1年当たり数量(菓子及び穀粉を除く)」に推計を加えたもの

具体的には、食料需給表の平成21年度数量及び7年度～21年度結果から推計した数量をもとに、平成21年11月～22年10月の月別消費量を算出し、その合計を玄米換算したもの

注：1人1年当たり消費量は、農林水産省「食料需給表」を基に推計しているが、本調査結果が一部未確定のため、暫定的な数値である。

②府県産米消費量 = 道農産振興課「卸売業者における主食用うるち米の販売数量調査」(平成21年11月～22年10月の府県産米販売数量)

(3) 推計結果

$$\begin{aligned} 22RY \text{北海道米の道内食率} &= \frac{342,261 - 76,822}{342,261} (\text{玄米 t}) \times 100 \\ &= \frac{265,439}{342,261} (\text{玄米 t}) \times 100 = \boxed{78\%} \end{aligned}$$

(4) 基礎データ

項目	22RY
北海道内米総消費量 (玄米t)	342,261
道内総人口 (人)	5,527,384
1人1年当たり米消費量 (玄米kg)	61.921
北海道米消費量 (玄米t)	265,439
府県産米消費量(道内主要卸売業者) (玄米t)	76,822

担当：農政部食の安全推進局
農産振興課水田グループ
(秋元、谷川)
連絡先：011-231-4111 (内線27-724)
[直通] 011-204-5435